

10月は「茨城県がん検診推進強化月間」です

県では、10月を「茨城県がん検診推進強化月間」と設定し、「がん検診の受診率60%達成」を目指しています。現在、日本人の2人に1人は生涯のうち一度は何らかのがんにかかると言われ、3人に1人はがんで亡くなっています。県でも、昭和60年以降、がんが県民の死亡原因の第1位となっています。一方で、早期発見・早期治療で治せるがんも増えてきています。早期のがんは自覚症状がありません。症状がないうちからがん検診を受けることが大切です。

町では、がん検診にかかる費用の一部を助成しています。個人で受診するよりもお得に検診を受診することができます。町で助成している検診の対象者・個人負担金は下記の表のとおりです。詳しくは町ホームページをご確認ください。

対象となるがん検診

| 種類 | 対象年齢 | 個人負担金 | 実施方法 | |
|---------|------------------|-------------------------------|----------------------------|------|
| 肺がん検診 | 40歳以上 | 0円 | ゆうゆう館での 集団健診 | |
| 大腸がん検診 | 40歳以上 | 500円 | | |
| 胃がん検診 | バリウム検査 | 40歳以上 | 1,000円 | 医療機関 |
| | 胃内視鏡検査 | 51歳以上の奇数年齢 | 69歳まで4,000円 71歳以上2,000円 | |
| 乳がん検診 | 40歳以上の偶数年齢女性（※1） | 40歳代1,500円 50歳以上1,000円（※2） | ゆうゆう館での 集団健診 医療機関 | |
| 子宮頸がん検診 | 20歳以上の女性 | 1,000円 | | |

（※1）令和6年度に受診していない奇数年齢の方も受診可
（※2）医療機関で受診する場合は1,500円

がん検診に関するよくある質問

Q がん検診は生涯1回だけ受ければよいですか？

A 定期的な受診が必要です。各がん検診の受診間隔に合わせて受診しましょう。

Q がん検診を無料で受けられる年はありますか？

A 年度内年齢によって、無料で受診できます。21歳は子宮頸がん、41歳は大腸がん・乳がん、51歳・61歳は胃がん検診が無料で受診できます。対象の方へは6月に無料クーポン券を送付しています。

Q 気になる症状があるので検診で確認することはできますか？

A 症状がある場合、検診は受けられません。明らかな症状のある方は、それぞれの体の状態に応じた適切な検査や治療が必要になるため、必ず医療機関を受診しましょう。

Q 要精密検査（要精検）といわれたら？

A 「がん」の可能性があるため、すみやかに精密検査を受診しましょう。以前の検査で「異常なし」であったから、症状がないから、等の理由で精密検査を受けないと、早期にみつかるはずのがんを放置してしまう可能性があります。結果を受け取ったら3か月以内に受診をすることをお勧めします。

【問合せ先】健康増進課 ☎ 029-240-7134（直通）

入居のご相談も随時対応しております。ショートステイもご利用できます。



グループホームひぬまの杜 ☎029-240-8321
東茨城県茨城県中石崎1055 担当/大塚

入居者
募集
職員
募集



グループホームひぬま ☎029-240-8117
東茨城県茨城県中石崎159-1 担当/渡邊・久保田

文芸

《短歌》

○サヤサヤとそよ吹く風の心地良
き休耕田のコスモス揺れる
浦井 正子(宮ヶ崎)

●コーヒートの苦みに砂糖クリームと
ジョークを入れてかきまぜる君
白田 美鶴(網掛)

●晴わたる空いっばいに枝伸ばし
猛暑を謳歌のうぜんかずら
内田 理(長岡)

一日で大きい松を剪定し健鞘炎
で五日通院
大場 邦男(長岡)

一年間弟の子守をしてくれし従
姉ホームへ淋しい知らせ
小堤美智子(小堤)

鶯が我が家の庭の高木で巣づく
り子育て夏のホーホケキョ
河野 久子(網掛)

おばあちゃん「お泊りさせて」とメー
ルあり陽さしの香りの布団と待ちぬ
佐藤よし子(谷田部)

百日紅枝の先端小花咲き下から
見てる女郎花かな
富田 満男(小幡)

長崎に響く鐘の音80年ロザリオ
悲し妻のかたみよ
大森 欣子(駒場)

我が心見失わずに友に添う悪し
きところも理解し諭す
大野 友子(城之内)

（評）浦井さん「風の感触」コスモスが揺れる音、自然の穏やかな風景から、余すことなく秋の空気を感ぜられる。夏の厳しい暑さが終わり、肩の力が抜けたように、ほととぎす。白田さん「ジョーク」を入れるという「ユーモアが素敵。2人でのつたりとおしゃりして過す」という日常の中の小さな幸せを描いている。内田さん「人間も動物も植物もささも参る猛暑を」謳歌」と表現することで、うぜんかずらの力強い、生き生きとした姿が脳裏に浮かぶ。

《俳句》

○かなかなの鳴き声なぜに心悲し
小堤美智子(小堤)

●陽にまけて柿が落ちたる庭掃除
平本 裕男(小幡)

●真夏日に弱音吐くも食すすむ
高見 英子(大戸)

鈴虫の鳴く声清し夜明けまで
浦井 正子(宮ヶ崎)

チョロチョロと尻尾ふりふり蜥蜴の子
村井 孝子(長岡)

啄みて一声に発つ稲雀
諸川 恵子(駒場)

天水の水ぬくもるや布袋草
佐藤よし子(谷田部)

光合う恋しき同士のホタルかな
白田 美鶴(網掛)

盆帰省枕並べて雑魚寝かな
野口 秋夫(上石崎)

猛暑日を自宅の風呂で体験す
内田 理(長岡)

（評）小堤さん「ひぐらしの切なさや寂しさを感じ鳴き声。夏の終わりを感ずるとともに、もう戻らないあの頃を思い出してしまうからだろうか。平本さん「強い日射しに耐えられず、地に落ちてしまった柿。本来ならば立派に熟すはずの柿を片付けることに少し悲しさを覚える。高見さん「食欲があるのは健康の証拠。栄養満点の食事をこころ気候に負けない」というような季節も健康に過ごしたいもの。

【作品の送付先】
ハガキ等に3首、3句以内を書いて、住所氏名明記の上、**20日まで**にお送りください。
郵便：〒311-3192
茨城県小堤1080
茨城町秘書広聴課 宛
FAX：029-292-6748
秘書広聴課 ☎029-240-7126（直通）
029-240-7126

身近な出来事を「広報いばらき」に掲載しませんか？

▶対象 町内に在住・在勤されている方
▶原稿 文字数400字～600字程度、写真1～2枚
▶応募方法 住所、氏名、連絡先（電話・FAX番号）を明記の上、郵送・FAX・電子申請等でお申し込みください。
※スペースによって、掲載できない場合もあります。

【応募・問合せ先】秘書広聴課 ☎029-240-7126（直通）
FAX：029-292-6748




南島田香取神社本殿が竣工

レポーター 南島田香取神社総代長 木村 薫（南島田）

南島田の香取神社は、元慶3年4月5日、千葉県香取市の香取神宮より「御影」を迎え、産土の神として、地域の人達に護り伝えられてきました。

江戸時代、社殿の傷みが甚だしくなり、寛政12年3月に再建されました。それから約200年が過ぎ、社殿の火災保険を総合保険に切り替えようとしたが、本殿の老朽化のため加入できず、令和5年10月14日、区の臨時総会において、本殿の改築が必要ということになりました。その後、役員で他集落の神社や笠間の神具店などの視察を重ね、令和6年3月31日の集落総会で、南島田全戸から寄付を集め、本殿を改築することを決定しました。また、本殿改築委員会を立ち上げ、設計、予算の検討等、7回の委員会を開催しました。

そして、令和7年1月19日に「御影」を仮殿に遷す遷座祭を斎行。2月24日に本殿の解体を実施。6月末日に荘厳な本殿が竣工しました。7月27日、氏子全員が集い、「御影」を仮殿より本殿に遷す本殿遷座祭を斎行しました。

いずれにしても、計画を集落に提示してから、わずか1年9か月で事業を完遂できたことは、集落の協力があつたからであり、自信を持ってこの神社を次の世代に引き継ぐことが出来ます。

